

「最後の一句」

勿来高等学校長 鎌倉雅臣

「最後の一句」というと、辞世の句とも考えられるが、ここでは森鷗外の作品についてである。昔はよく中学校や高等学校の教科書に採られていた教材であるが、内容が内容だけに昨今の教材からは外されているところにやや作為が感じられる。

「お上の事には間違はございますまいから」というのが、最後の一句である。この時期、この地だからこそ、改めて意味深いものを感じる。

「お上の事には間違はございますまいから」という主人公「いち」の「氷のやうに冷かに、刃のやうに鋭い、いちの最後の詞の最後の一句」という台詞が話題となる作品である。もちろん内容全体を読んだ上で判断が必要ではあるが、読んだ多くの人の心に残る一句であることに間違いはない。

いわゆる社会的弱者が、強者（国家権力等）に投げつけた不遜とも言えるべき疑問の一句である。

この“最後の一句”は、たしかに権力の側にいる人間に対する痛烈な皮肉であり、痛烈な批判である。我々はともすれば、生徒や保護者ひいては地域への誠意期待と温情報復意識を持ちがちであり、それに対して、根底から発想の異なる駆け引きが行われるのであるが、このような鋭いやりとりのある授業や教育ができない、そして政策や、はては正義が、昨今見られないのが残念である。

また、「お上」は、そのまま「教師」「親」「先輩」等に言い換えても相通ずるものがある。「お上」は間違っただけとはいえないものなのであり、社会的弱者が常にその被害的立場に立つことや、一度しかない自分の人生や大切な地域に「間違いました」では済まされないことを、しっかりと刻むことが大切であろう。

教員としてスタートした頃、先輩から教えられた句がある。

「あやまちで教うることもありなむに吾を信ずる子らをおそるる」（栗原克丸）

教師のみならず親や大人すべてに過ちがないとはいえない昨今だが、その教師を信じる生徒・子ども達の眼差しこそが真実であり、何物にも代え難い重さと未来がある。

（私事ではありますが、この3月末をもって退職いたします。地域の皆様には、在任3カ年にわたり勿来高校を支えていただき、また、この「勿来高だより」をお読みいただき、厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。）



第60回卒業証書授与式

平成25年3月1日（金）に第60回卒業証書授与式が挙行されました。

今年度は学校創立以来60回目の記念すべき卒業式であり、同窓生は12300名となりました。鎌倉雅臣校長から卒業生64名全員に卒業証書を1名ずつ渡されて、大変思い出深い卒業式になったと思います。

校長式辞の後、阿部県議会議員やPTA会長、同窓会会長から祝辞をいただきました。そのあと、生徒会長の佐川竜一くんからは先輩に対する御礼の送辞が述べられ、卒業生からは前生徒会長である清野七色華さんが在校生や保護者等に対する感謝の答辞を述べました。

いわき南警察署長をはじめ、進路決定先の企業の代表の方々など、多くの来賓の方へ出席していただき、盛大な卒業式となりました。



企業見学（日本製紙）について

地元企業である日本製紙様のご理解ご協力により、企業見学会を2月1日（金）、2月8日（金）の13時30分から15時まで、2年生を対象に実施しました。2月1日は2年2組、2月8日は2年1組が見学しました。

3年生を目前に控え、「企業で働くとはどのようなことか」ということの詳細なイメージを持たせ、進路意識を高めるために企画しました。見学当日は、日本製紙の担当者様から企業概要等を映像を用いながら説明していただき、



その後は、工場内の説明をいただきながら案内していただきました。

生徒の中には、小学校時代に日本製紙の工場見学に来た者もいましたが、そのときは違い、目前に迫った進路選択を考えながら、担当者様の説明を真剣に聞いていました。

生徒たちは、1、2年生の時に希望した企業でインターンシップを行ってききましたが、今回の企業見学を受けて、生徒たちは「企業で働く」というイメージがさらに具体的になったようです。今後も、進路意識を高め、適切な進路選択ができるようにガイダンス等を実施していきたいと思ひます。



2学年進路ガイダンスについて

平成25年2月22日（金）の5、6校時に2学年進路ガイダンスを実施しました。はじめに進学希望者と就職希望者に分かれて、それぞれ以下の内容で実施しました。



- 進学希望者 5校時：進路講演
6校時：系統別分野別分科会
- 就職希望者 5校時：就職講演
6校時：面接指導

進学希望者は、講演で進学と就職の違いや進学にかかる費用、スケジュール等の説明を受けた後、調理や理美容、福祉等の12の分野に分かれて、大学や専門学校の方々から、具体的な話をしていただきました。

就職希望者は、講演で面接マナーや対応の指導、スケジュール等の説明を受けた後、3つのグループに分かれて、専門の講師から直接、面接指導をしていただきました。

生徒たちは、3年生を目前に控えているため、真剣に話を聞き、積極的に取り組んでいました。

生徒個々の進路意識を高め、来年度、適切な進路選択及び進路実現ができるよう、今後もガイダンス等を実施していきたいと思ひます。



市内高校等地元企業説明会について

平成25年2月25日（月）の10時30分から12時30分まで、平体育館で市内高校等地元企業説明会が開催されました。

地元企業24社の参加に対して、高校生は343名参加しました。本校からは1年生7名、2年生16名が参加しました。

生徒たちは、男女2班に分かれ、各企業のブースを回り、企業の事業内容や資格取得の方法等について説明を受けました。

各企業からの説明に対し、生徒たちは熱心にメモを取り、真剣なまなざしで聞いていました。

説明会終了後、生徒たちからは「進路目標達成のための具体的な方法を聞くことができよかった」「その仕事に就くために必要な資格が何かを知ることができた」「大変貴重な機会であり、今後も参加したい」などの感想を聞くことができました。生徒たちにとっては、進路選択を目前にして、大変よい機会となったようです。

今後も、生徒個人に適した進路選択ができるよう、ガイダンスや企業説明会、インターンシップ等、積極的に行っていきます。



平成24年度表彰式について

平成25年2月28日（木）に表彰式が行われ、受賞者は以下のとおりです。

- 学校長賞：清野七色華
- 善行賞：清野七色華、吉荒也展、松本和馬、村田早紀
- 皆勤賞：佐藤舞、清野七色華、赤津憲司、松本和馬
- 精勤賞：鷺佑樹、小野愛梨、畑中美優、鈴木孝浩、吉荒也展、神永喜美、齋藤真弥、佐藤留美、村山雅、松田侑也、村田早紀
- 生徒会功労賞：清野七色華、松本和馬、村田早紀
- 体育文化後援会会長賞：会川皓平、鈴木雪白、吉荒也展、赤津憲司、田村伸太郎、石川瑞穂
- 同窓会会長賞：音楽部
- 高校体育連盟関係表彰：大滝尚人、鈴木孝浩、伊藤翼、佐川奈瑠美
- 全国高等学校家庭クラブ連盟成人会長賞：面川ひかる
- 勿来高校家庭クラブ功労賞：佐藤直也、松田侑也
- 福島県高等学校野球連盟部員表彰：吉田光
- 日本情報処理検定協会検定委員長賞：赤津憲司
- 校内読書感想文コンクール：最優秀賞 齊藤翔伍、佳作 赤津憲司



進路状況について（進学率・就職率ともに100%達成！）

今年度の進路別決定人数は右の表の通りです。進学希望者・就職希望者全員が進路先を決めることができました。

就職においては、今年度も厳しい状況の中、生徒たちは1学期にインターンシップへ積極的に参加し、就職の受験決定後は受験する企業を必ず見学して意識を高めてから受験する等、意欲的に取り組みました。また、就職支援員の企業開拓のおかげで毎年、就職率も上がっています。

進学においては、小論文や学習指導、面接指導などに毎日遅くまで取り組んだため、進路希望実現を果たしました。

全教職員で就職・進学希望者それぞれに対して毎日指導を行ったことが生徒の進路実現の一助となったと思います。

○進路別決定人数

	種別	人数	主な進学・就職先
進学	大学	8	茨城大・東北文化学園大・いわき明星大 等
	短大	2	いわき短大
	専門学校	18	テクノアカデミー浜・国際メイカルテクノロジー・いわき准看 等
就職		33	自衛隊・ひまわり信金・ハートフルなこそ・鶴見鋼管 等

合格体験談を聞く会について



平成25年3月15日（金）5校時に合格体験談を聞く会が2学年対象に視聴覚室と物理室で行われました。

昨年度までは進学者だけが対象でしたが、今年度は進学・就職希望者それぞれに対して、今年度合格した先輩方の体験談を聞く機会を設けました。

生徒たちは今年卒業した先輩方から高校3年間で取り組んできたことや受験するにあたり考えてきたことなど、合格体験の具体的な話を聞き、これからどのように取り組んでいけばよいのか、何を準備すればよいのか等、来

年度の過ごし方について知ることができました。生徒たちは先輩たちの話を真剣に聞いてメモを取り、今後どのように高校生活を過ごせばよいのか、大変参考になりました。

<学年末・学年始め休業について>

終業式終了後、春休みに入ります。1年間の学校生活も終わり、気持ちがゆるむ時期となりますが、以下の離任式・始業式等の日程を確認の上、遅刻や欠席等がないよう、ご家庭でのご指導をお願いします。

終業式： 3月18日（月）

Ⅲ期選抜：3月22日（金）《 登校禁止 》

合格発表：3月25日（月）

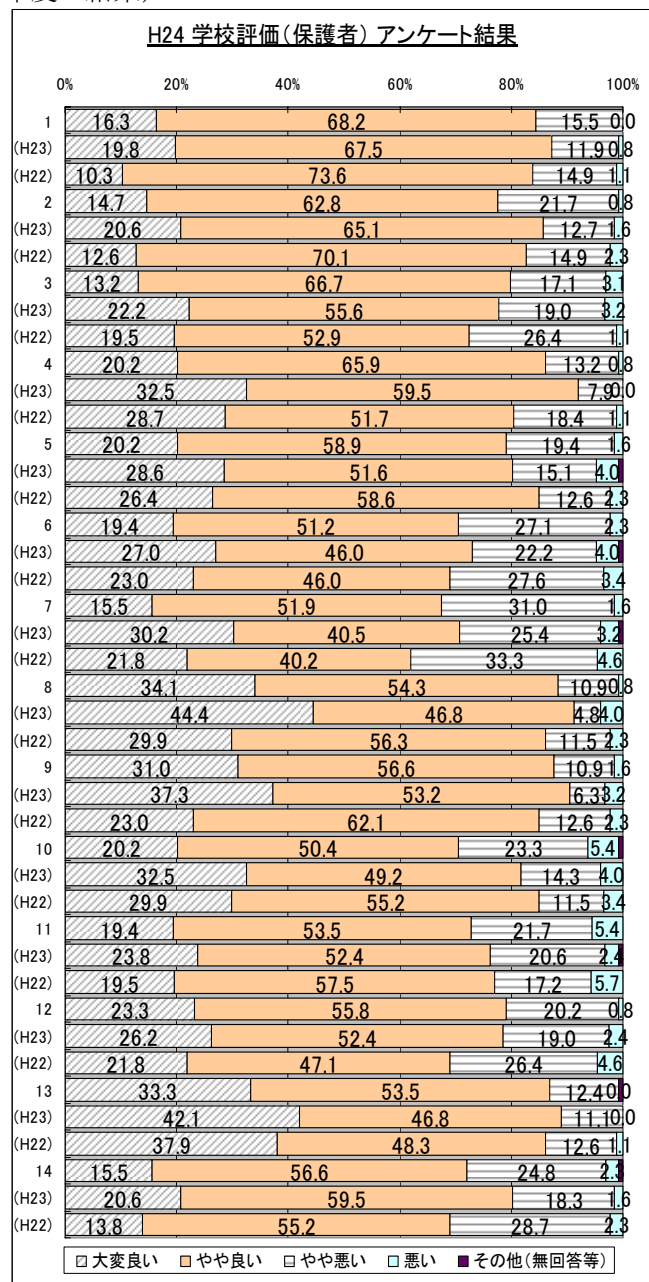
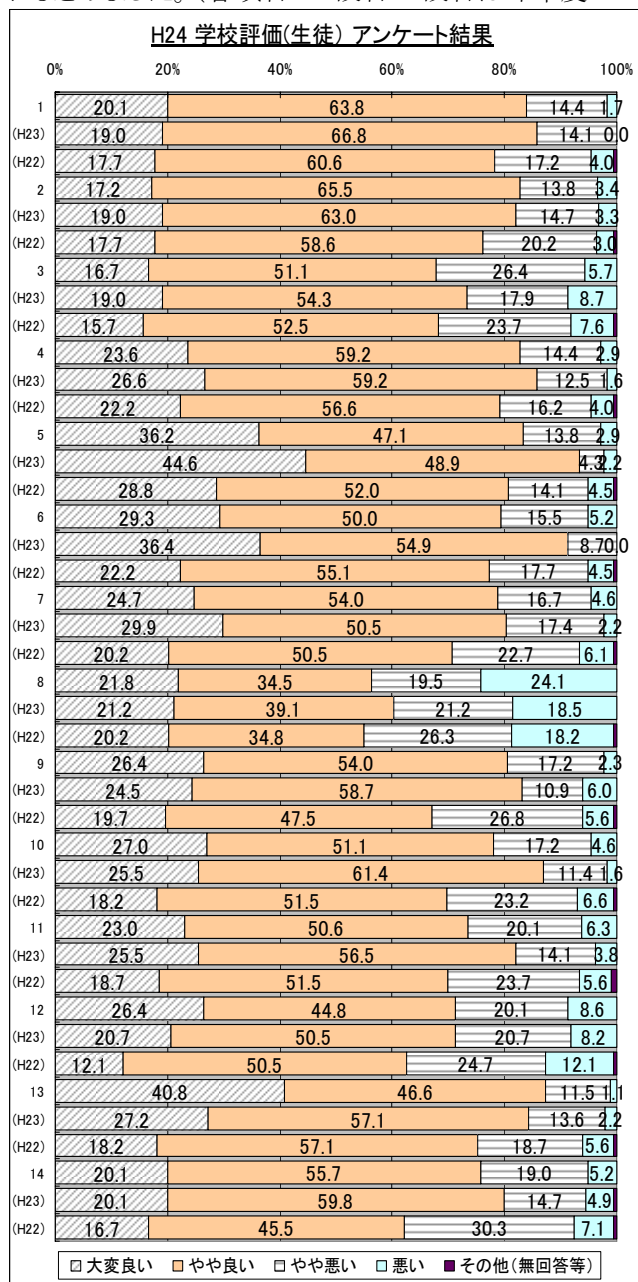
離任式： 3月29日（金）8：35登校、11：30放課（予定）

始業式： 4月 8日（月）8：35登校、11：30放課（予定）

入学式： 4月 9日（火）《 在校生は自宅待機 》

<平成24年度学校評価について>

平成24年度の学校の取組状況について、生徒及び保護者の方々にアンケートをとり、その結果を以下の表にまとめました。(各項目の2段目・3段目は昨年度・一昨年度の結果)



生徒からは、授業に関することについて、良い傾向である「大変良い」「やや良い」の合計が8割を越え、部活動やボランティア活動についても良い傾向が毎年上昇しており、日々の先生方の授業に対する取り組みや地域に根ざしたボランティア活動が生徒たちに浸透してきています。しかし、進路に関する情報提供等は昨年度より減少しているため、提供方法も含め、来年度の課題であります。

保護者の方々からは、授業の充実や学習評価、社会規範の醸成の合計が8割を越えており、生徒同様に評価していただいておりますが、進路相談や保護者との連携については、昨年度より減少しており、P・T・Aの連携方法について、改めて課題であると思います。そのために、保護者の方のPTA総会の出席率向上についても併せて改善していくことが必要だと思っております。

今回のアンケートにより得られた貴重なご意見をふまえ、今後も改善し、飛躍してまいります。

<生徒用アンケート質問項目>

1. 基礎学力定着のため、授業内容を充実させているか。
2. 学習習慣定着のため、授業態度を養う指導が行われているか。
3. 個に応じた指導の充実が図られているか。
4. 学習評価は適切であるか。
5. 進路相談・指導等は十分なされているか。
6. 進路に対する情報は十分提供されているか。
7. 資格取得の指導は十分されているか。
8. 生徒指導カードは効果があるか。
9. 基本的生活習慣の確立の指導は十分行われているか。
10. 社会規範を守る大切さを教える指導は十分行われているか。
11. 先生との面談等、困った時の相談体制は充分行われているか。
12. 生徒会・部活動等に積極的に参加するよう指導しているか。
13. ボランティアの意義の理解と活動機会を設定しているか。
14. コミュニケーション能力育成は十分されているか。

<保護者用アンケート質問項目>

- (1～7、12～14は生徒と共通)
8. 基本的生活習慣の確立の指導は十分行われているか。
 9. 社会規範を守る大切さを教える指導は十分行われているか。
 10. 先生との面談等、困った時の相談体制は充分行われているか。
 11. 学校健全化推進のために保護者との連携が図られているか。